

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 成人看護学分野科  
目コード:240006

## がん病態治療学特論 Clinical Oncology

担当教員	今井 美和、今井 秀樹、矢野 聖二(非)、江嵐 充治(非)				
実務経験	複数教員が担当 病院等の実務経験と教員としてのキャリアを有している				
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)	◎	(3)
Keywords	がん、病理、診断、治療				
学習目的・目標	目的：がんの病理標本を肉眼的・組織学的に観察し、がんの病態を体系的に理解する。また、病態に基づく診断・治療に関する最新の知見を習得する。看護実践において患者の疾患理解を深め、治療過程での支援や説明、チーム医療における看護師の役割を効果的に果たすことに活用できる。 目標： (1) がんに関する専門用語および多様な病態を説明できる。 (2) がんの病態に基づく診断・治療を説明できる。 (3) がんの病態理解に基づき、患者の状況を多角的に評価し、必要な看護・支援を検討できる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1-11	(1) オリエンテーション (2) がんの病理 定義、分類、進展、 腫瘍と宿主の関係、診断、治療、 原因と発生のメカニズム、予防、 胃がん、大腸がん、乳がん、肺がんなど			講義・討議	今井 美和
12-13	(3) がんの疫学			講義・討議	今井 秀樹
14	(4) 乳がんの臨床 病態、診断、治療			講義・討議	江嵐 充治/今井 美和
15	(5) 肺がんの臨床 病態、診断、治療			講義・討議	矢野 聖二/今井 美和
教科書	各講師が随時提示する。				
参考図書等	各講師が随時提示する。				
評価方法・基準	授業参加度(発言・ディスカッション) 70% + 課題の遂行・提出状況 30% により評価				
関連科目	がん看護学演習Ⅰ・Ⅱ 緩和ケア演習Ⅰ・Ⅱ がん看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
教員から学生へのメッセージ	がんの病理学的・臨床的特徴を包括的に理解し、最新のがん専門看護の実践に活かしてください。				